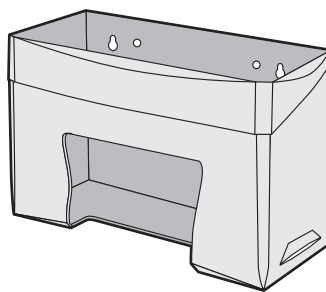


# オオサキPPEホルダーソフト 2413T クリア 1個入

## エプロン袖付用 取り扱い説明書



JANコード 品番 74620





GS1-128



### < 内容物 >

- 本体 …… 1個

### < 別売 >

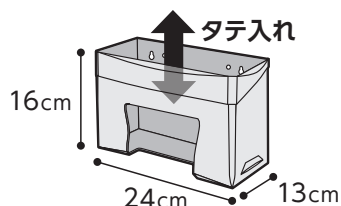
- ① マグネット (品番74613) …… 2個 
- ② 壁付ネジ (品番74614) …… 4本 

※壁への取り付けは、別売の「①マグネット」「②壁付ネジ」のどちらかお好みのものを組み合わせてください。

※「②壁付ネジ」は4本入り(ネジ4本・アンカー4個)のため、本体2個分に使用できます。(本体1個に使用するネジは2本です。)

### < 内寸法 >

- 幅 24cm × 高さ 16cm × 奥行 13cm (このサイズより小さい商品が入ります。)



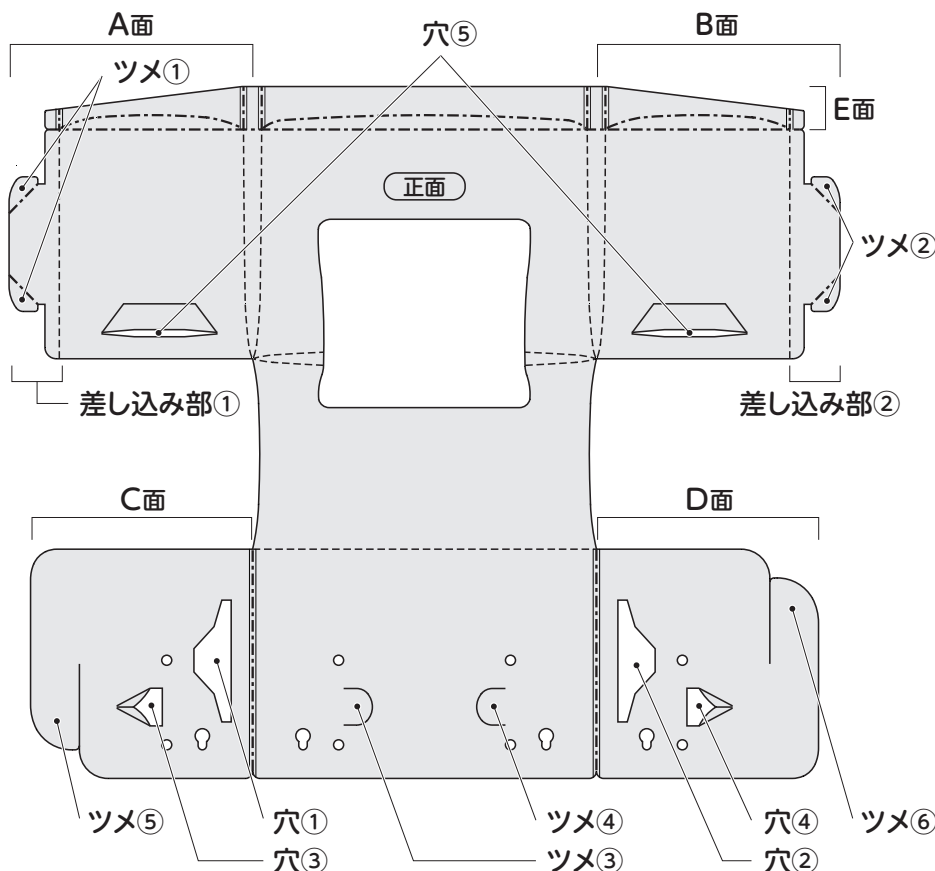
山折り



谷折り

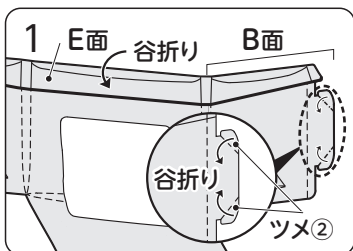


### 展開図

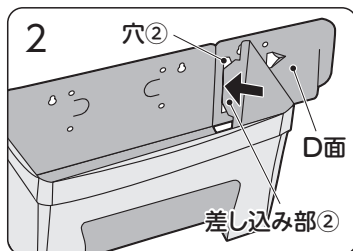


### 組み立て方

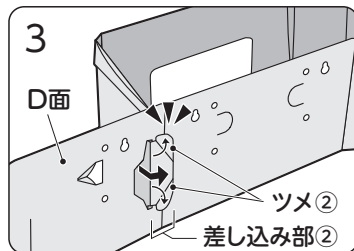
展開図の折り線に沿ってあらかじめ折り目を入れると、組み立てやすくなります。



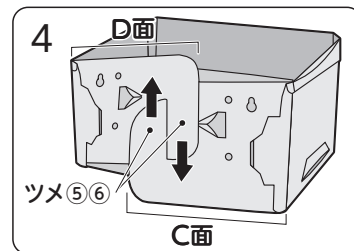
右上展開図の向きに開き、折り線に沿ってE面と、B面の「ツメ②」を谷折りします。(E面はあらかじめ折られています。)



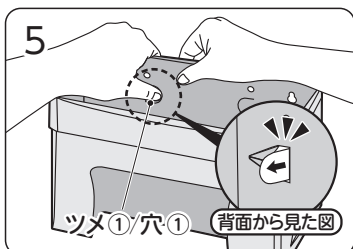
折り曲げた「ツメ②」を押さえながら「差し込み部②」をD面の内側から「穴②」へ差し込みます。



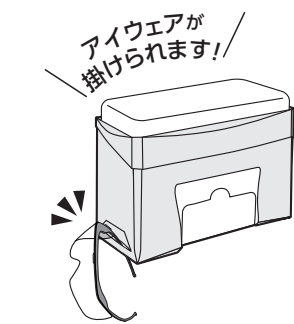
背面から「差し込み部②」を引っ張り、「ツメ②」が飛び出すように広げます。反対側「差し込み部①」も同様に行います。



C面とD面を重ね合わせて「ツメ⑤」「ツメ⑥」の切り込みを上下に差し込みます。



正面から指で「ツメ③」を「穴③」に押し込みます。「ツメ③」が背面から飛び出すまで押ししてください。同様に、「ツメ④」を「穴④」に押し込みます。



側面「穴⑤」に、アイウェアを掛けることができます。

PPEホルダーの  
詳しい情報は  
こちら>>>  
(組み立て動画あり)



本体材質:PP

日本製

132075-01  
W296×H25×D510

**Osaki**

オオサキメディカル株式会社

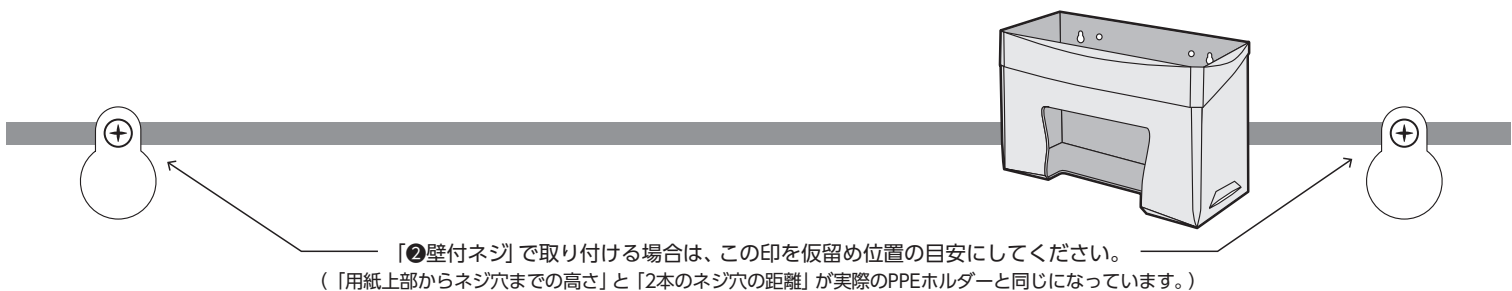
名古屋市中区玉池町203番地 〒452-0812

ホームページ <http://www.osakimedical.co.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-15-0039

(受付時間 10:00～17:00 ※土・日、祝日を除く)

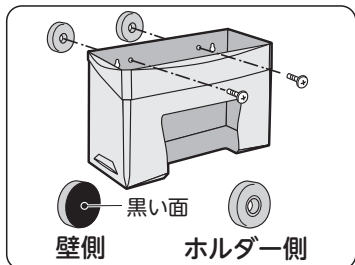
取り付け方は裏面にあります。>>>



「②壁付ネジ」で取り付ける場合は、この印を仮留め位置の目安にしてください。  
 (「用紙上部からネジ穴までの高さ」と「2本のネジ穴の距離」が実際のPPEホルダーと同じになっています。)

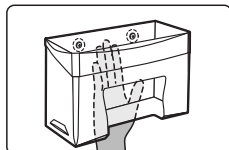
## 取り付け方

### 「①マグネット」で固定する場合



正面内側からネジを通し、背面からマグネットをドライバーで回し締めてください。  
 マグネットは、黒い面を壁側にして取り付けてください。

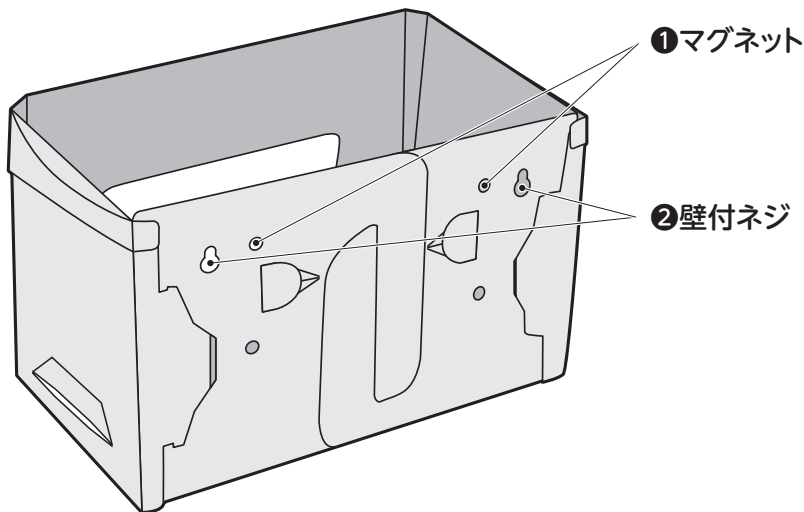
### 〈ホルダーの外し方(マグネット)〉



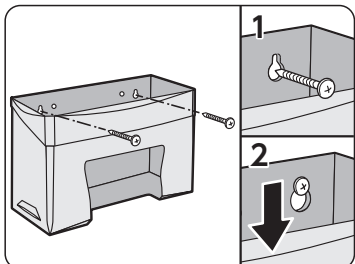
ホルダーと壁の隙間に手を入れ、手のひら全体でホルダーを手前に引っ張って外してください。

※磁力が強いため、無理に引っ張るとホルダーが破損する恐れがあります。

### 取り付け穴(背面)



### 「②壁付ネジ」で固定する場合

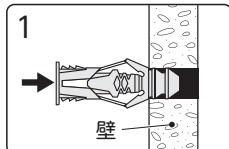


壁にネジを仮留めし、水平な位置を確認した後、本体を下にずらしてネジを増し締めします。

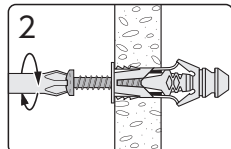
この用紙上部の⊕印を、仮留め位置の目安にできます。

### 〈アンカー使用方法〉

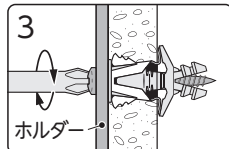
直接ネジを締め付けることができない壁(石膏ボードが張ってある中空構造の壁など)にはアンカーを使用してください。



ドリルなどであらかじめ壁に6mmの下穴を空け、アンカーを差し込みます。入りにくい場合はハンマーで軽く叩いてください。(無理に叩くと壁が割れる場合があります。)



ネジをアンカーに途中まで差し込んだ後、PPEホルダーを挟んで一緒に締め付けてください。(インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けください。)



頭部までネジが入った後、さらにネジを5回転(目安)させてください。

### アンカー仕様

〈ドリル径〉  
6.0mm

〈最大引抜強度(石膏ボード)〉  
 ・ 9.5mm厚ボード…16kgf  
 ・ 12.5mm厚ボード…23kgf  
 ・ 15.0mm厚ボード…32kgf  
 ※適応壁厚8.5mm以上

〈対応可能な壁の種類〉  
 ・ 石膏ボード  
 ・ コンクリート  
 ・ ALC板  
 ・ 木材

### 〈使用上の注意〉

- PPEホルダー以外の目的で使用しないでください。
- 取り付け場所の強度・状態等を確認の上、設置してください。
- 素材の性質上、折り曲げた際に白濁することがありますが、製品強度への影響はありません。
- 変形の原因になりやすいため、高温や直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 本体が破損する恐れがあるため、ネジを強く締め過ぎないでください。
- 本体にひび割れ等が発生した場合は、新しいものと取り替えてください。
- アイウェアをホルダーに掛けている場合は、落下を防ぐため、取り外してからPPEの箱を交換してください。

### 〈「①マグネット」使用上の注意〉

- マグネットを使用する場合は、磁気の影響を受けやすい機器等の近くに設置しないでください。

- 磁力が強力なため、マグネット同士をくっつけないでください。また、マグネット単体を壁などにくっつけないでください。離せなくなる恐れがあります。

### 〈「②壁付ネジ」使用上の注意〉

- 壁内の配線や配管に注意して取り付けてください。
- コンクリート、ALC板、木材などの硬質壁に使用する際は、5%程度大きく下穴を開けて使用してください。
- 安全荷重は、最大引き抜き強度の1/4以下を目安としてください。
- 引抜強度は壁の種類や強度及び施工条件に大きく影響されます。
- インパクトドライバーを使用する際は、低速で確認しながら取り付けしてください。
- 壁を破損する恐れがあるため、必ずPPEホルダーと一緒に締め付けをしてください。
- 工具を使用する際はケガをしないよう注意し、必要に応じて安全防護具を着用してください。